



TimeCharger AirTouch

入退室インストールマニュアル

目次

1. はじめに	1
2. 注意	1
3. 前準備	
3-1. Windows 10 にインストールする場合	
3-1-1. スクリーンセーバーの設定	2
3-1-2. 自動更新の設定	3
3-1-3. 電源オプションの設定	4
3-3. PaSoRi (FeliCaポート)ソフトウェアのインストール	6
4. インストール手順	
4-1. パッケージ本体のインストール	7
4-2. 初期設定	12
5. 後処理	
5-1. Windows ファイアウォールの設定	18
6. 「TimeCharger (管理者)」、「TimeCharger (利用者)」のインストールについて	24

1. はじめに

ご利用になるコンピュータによって、本マニュアルに記載されている画像や名称等の詳細が異なる場合がございます。あらかじめご了承ください。

2. 注意

2-1. TimeCharger (入退室)をインストールする上での注意点

「TimeCharger (入退室)」のインストールを行う際は、管理者権限(Administrator)を持つユーザーで、ログオンした上でインストールを行ってください。

2-2. .NET Frameworkの注意点

「.NET Framework3.5」を使用する設定が必要になります。

2-3. SQLServerの注意点

「TimeCharger (入退室)」をご利用いただくには、「SQL Server 2012 Express Edition」がご利用いただける環境が必要になります。

2-4. PaSoRi(FeliCaポート)ソフトウェアの注意点

「TimeCharger (入退室)」でFeliCa対応カード(携帯)による打刻をおこなうためには、別途PaSoRi(FeliCaポート)ソフトウェアのインストールを行ってください。

2-5. 時刻設定の注意点

「TimeCharger (入退室)」で記録される打刻時間は、「TimeCharger (入退室)」をインストールしているコンピュータのシステム日付です。システム日付が正しくないと全ての打刻時間に影響を与えます。「TimeCharger (入退室)」をご利用いただく前に、正しいシステム日付になっていることをご確認ください。

2-6. インストール後の初期パスワード

「TimeCharger(入退室)」のインストールが完了すると、次回起動時に自動で入退室画面が表示されます。入退室画面を終了する際の初期IDとパスワードは以下の通りです。

ID	「kanri」
パスワード	「kanri」

2-7. インストーラ実行時の注意点

TimeCharger のインストーラ(インストールファイル)、および実行ファイルの起動時に、「ユーザ アカウント制御」より警告が出ることがあります。その場合は、「許可(A)」を選択してください。

※Windowsは米国Microsoft Corporation の登録商標です。

※「FeliCa」はソニー株式会社の登録商標です。

※「FeliCa」はソニー株式会社が開発した非接触ICカードの技術方法です。

※「PaSoRi(パソリ)」はソニー株式会社の登録商標です。

※その他記載されている会社名、製品名は、各社の商標および登録商標です。

※本品の無断複製、賃貸、中古販売は一切許可しておりません。

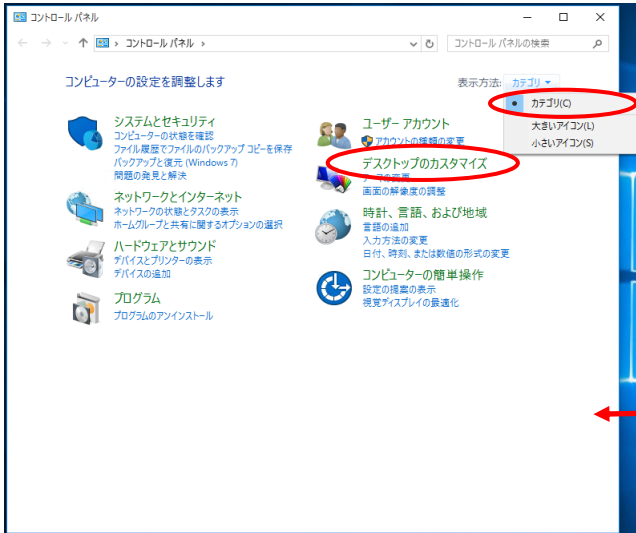
※画面は実際のものとは多少異なる場合がございます。

3. 前準備

「TimeCharger (入退室)」を正常に動作させるために、コンピュータの環境設定を変更する必要があります。

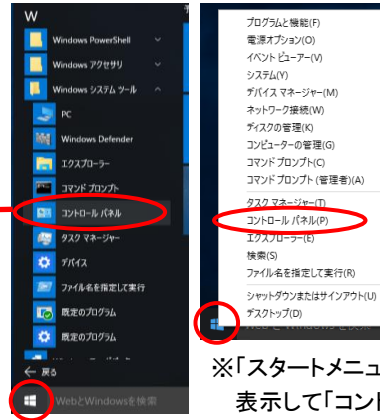
3-1. Windows 10 にインストールする場合

3-1-1. スクリーンセーバの設定

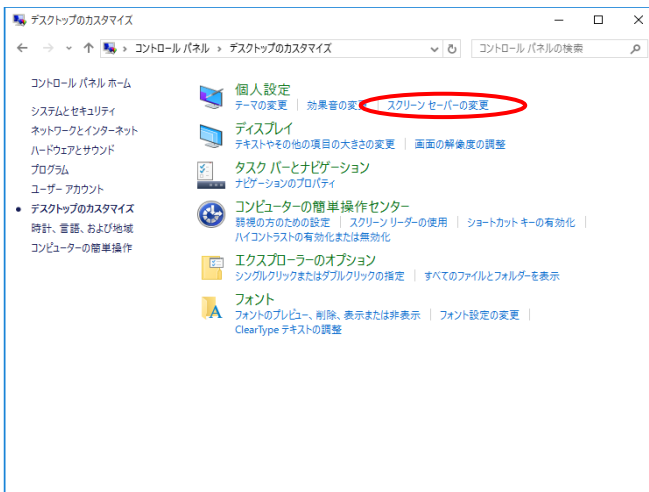


「スタートメニュー」より「すべてのアプリ」を選択し、「Windows システムツール」から「コントロールパネル」を開き、「デスクトップのカスタマイズ」を選択します。

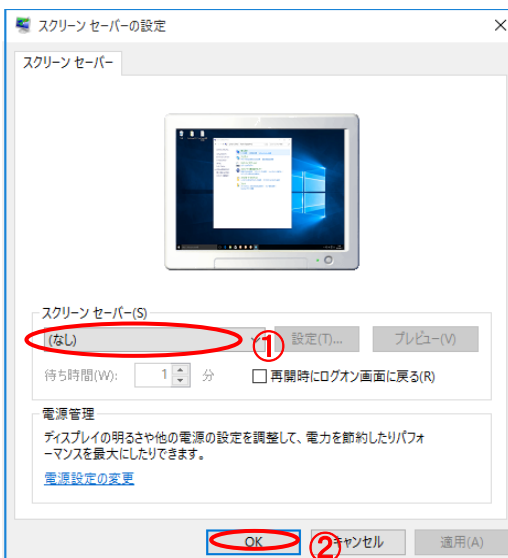
※「コントロールパネル」の表示方法は「カテゴリ」を設定しています。



※「スタートメニュー」から右クリックでメニューを表示して「コントロールパネル」の選択もできます。

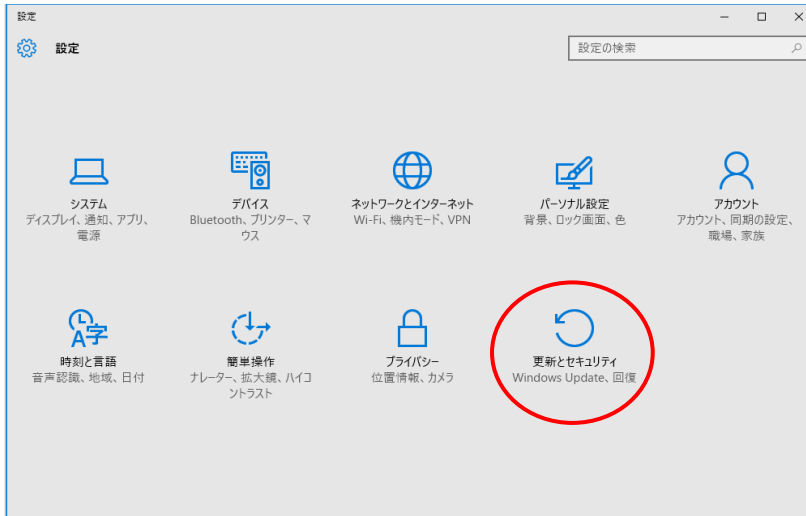
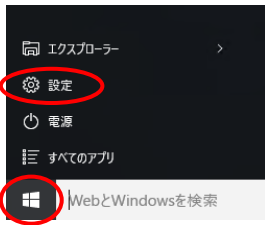


「スクリーンセーバの変更」を選択します。

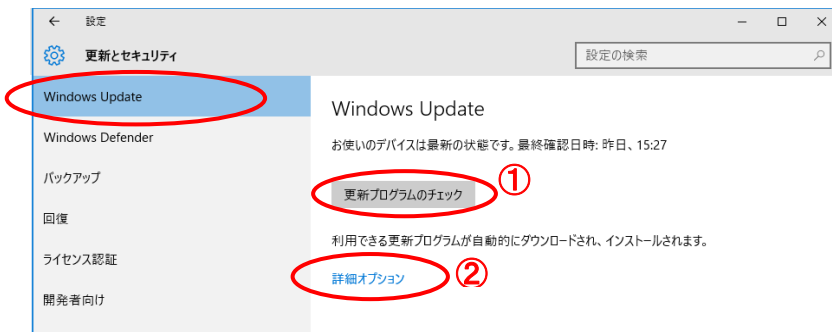


- ①「スクリーンセーバ(S)」を「(なし)」に設定し、
- ②「OK」ボタンを押下します。

3-1-2. 自動更新の設定



「スタートメニュー」より「設定」を選択し、「更新とセキュリティ」を選択します。



「Windows Update」にて

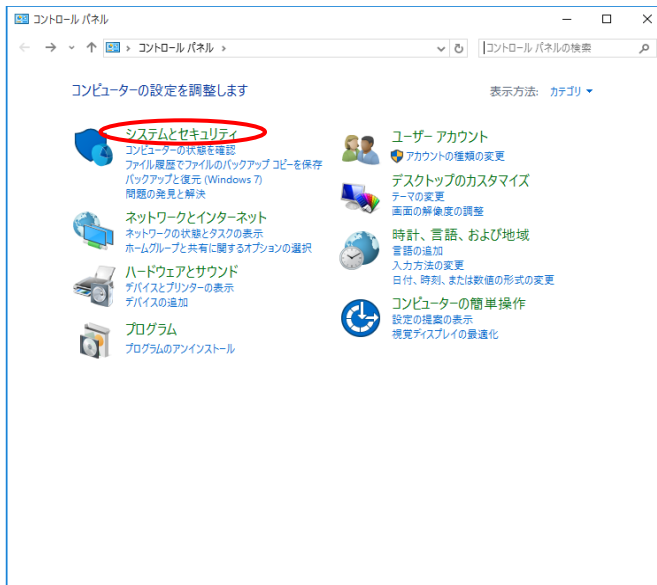
- ①「更新プログラムのチェック」を押下し、パソコンが最新の状態か確認します。
- ②更新プログラムが存在しないことが確認できたら、「設定オプション」を選択します。

※更新プログラムが存在する場合、パソコンを再起動後、最新の状態にして②の設定を行ってください。

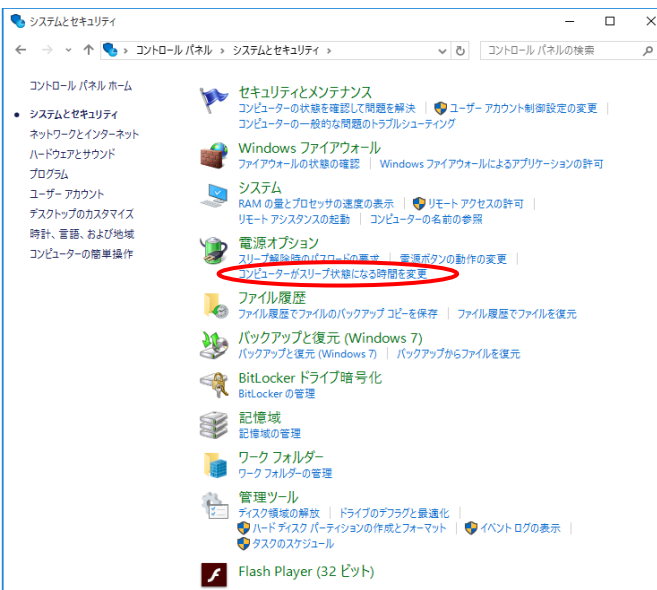


「更新プログラムのインストール方法を選ぶ」か「再起動の日時を設定するように通知する」を選択します。

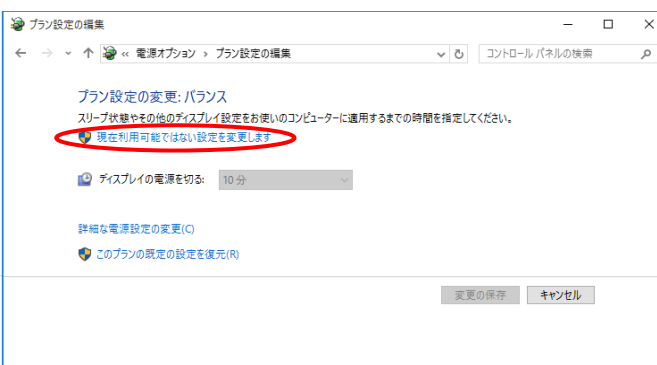
3-1-3. 電源オプションの設定



「スタートメニュー」より「すべてのアプリ」を選択し、「Windows システムツール」から「コントロールパネル」を開き、「システムとセキュリティ」を選択します。



「コンピュータをスリープ状態にする時間の変更」を選択します。



「現在利用可能ではない設定を変更します」を選択します



枠内の項目を全て「適用しない」に設定し、「変更の保存」ボタンを押下し、画面を閉じます。

3-3. PaSoRi (FeliCaポート)ソフトウェアのインストール

※「TimeCharger (入退室)」でFeliCa対応カード(携帯)による打刻をおこなうためには、PaSoRi (FeliCaポート)ソフトウェアが必要です。PaSoRi (FeliCaポート)ソフトウェアのインストールを行う場合は、PaSoRi (FeliCaポート)ソフトウェア付属のインストールマニュアルをご覧ください。

※Felica対応カード(携帯)による打刻を行わない場合は、PaSoRi (FeliCaポート)ソフトウェアのインストールの必要はありませんので、「4. インストール手順」へ進みます。

※再起動を求められた場合は、再起動を行ってください。

4. インストール手順

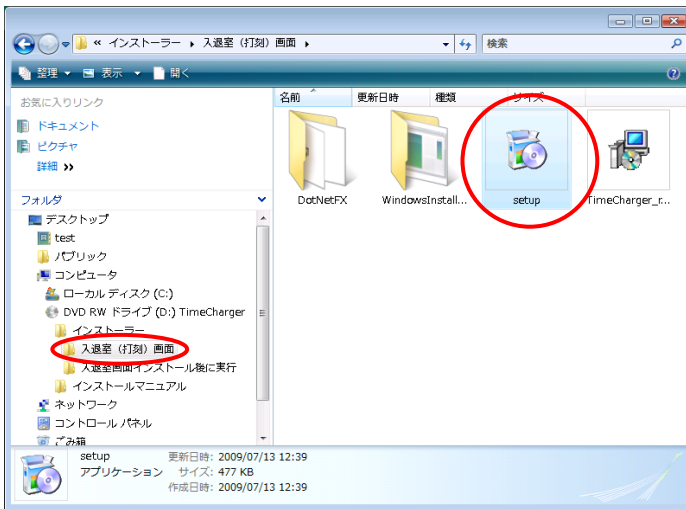
4-1. パッケージ本体のインストール

「TimeCharger」をCD-ROMからインストールする場合は、
「4-1-1. CD-ROMからインストールする場合」

弊社ダウンロードページより「TimeCharger」のインストーラーをダウンロードした場合は、
「4-1-2. ダウンロードしたインストーラーからインストールする場合」をお読みください。

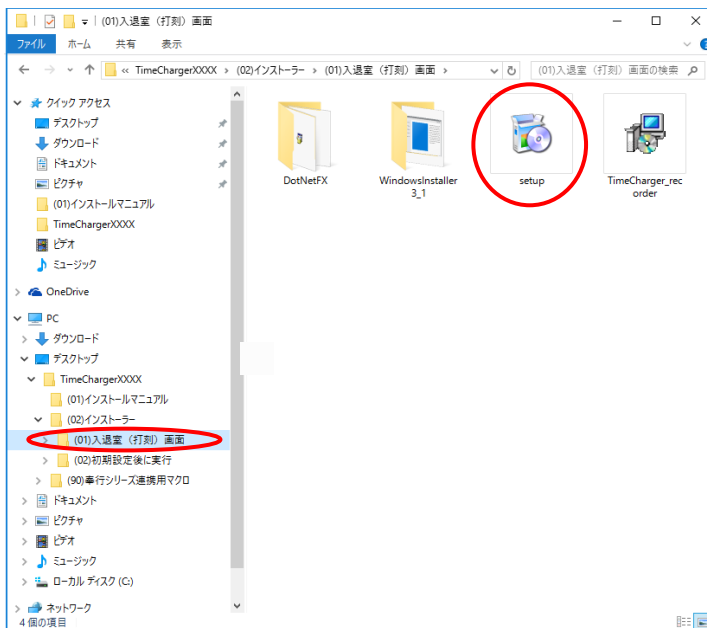
4-1-1. CD-ROMからインストールする場合

「TimeCharger」のCD-ROMが手元にある場合は、CD-ROMをCD-ROMドライブに挿入します。



CD-ROMドライブを開き、
 「インストール¥入退室 (打刻) 画面」フォルダ内の
 「setup」を実行します。

4-1-2. ダウンロードしたインストーラーからインストールする場合



ダウンロードした「TimeChargerXXXX」をデスクトップへ
 移動します。

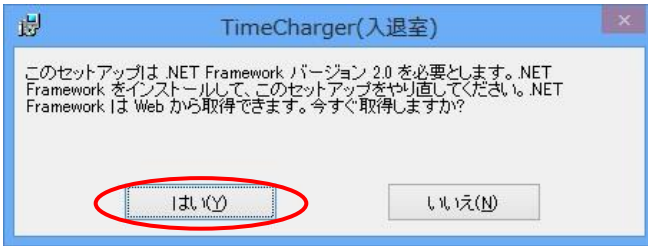
デスクトップに作成された
 「TimeChargerXXXX」フォルダ内の
 「(02)インストーラー¥(01)入退室 (打刻) 画面」の
 フォルダを開き、「setup」を実行します。

※ダウンロードした「TimeChargerXXXX」の
 フォルダ名「XXXX」にはバージョン番号が入ります。
 バージョンによって番号が異なりますので、
 マニュアルでは「XXXX」としています。

4-1-3. 「TimeCharger (入退室)」の動作に必要なソフトウェアのインストール

※「TimeCharger (入退室)」の動作には「TimeCharger (入退室)」とは別に以下のソフトウェアが必要になります。

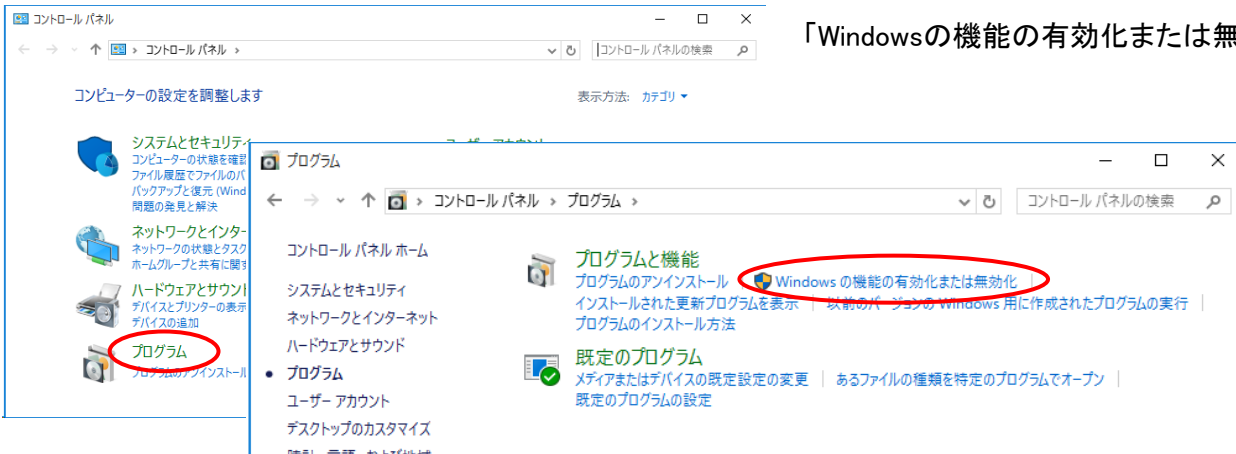
① 下記メッセージが、表示された場合



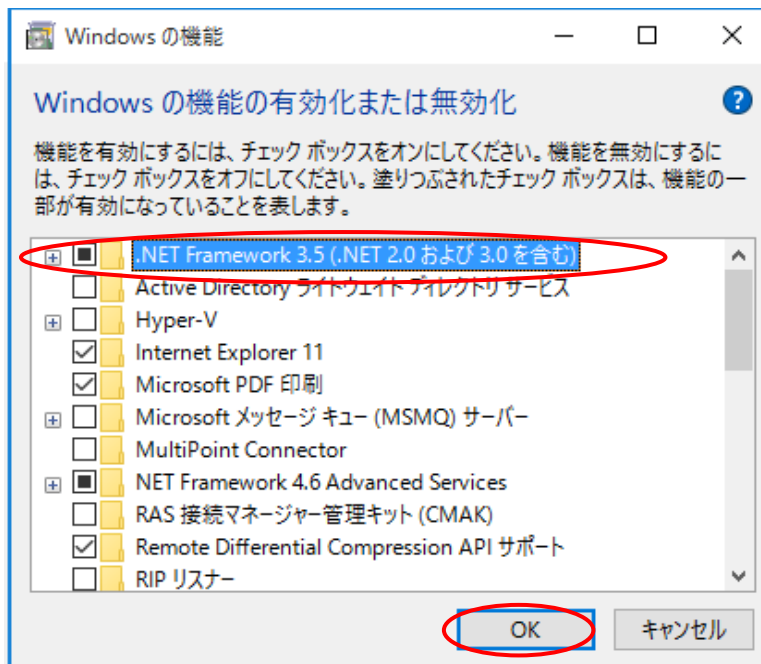
「はい(Y)」を押下して、②以降の
手順を行って下さい。

② 下記手順を実行して下さい。

「スタートメニュー」より「すべてのアプリ」を選択し、「Windows システムツール」から「コントロールパネル」を開き、「プログラム」を選択します。※「スタートメニュー」から右クリックでメニューを表示して「コントロールパネル」の選択もできます。



「Windowsの機能の有効化または無効化」を選択します



「.NET Framework 3.5(.NET2.0および3.0を含む)」を
選択し、「OK」を押下します。

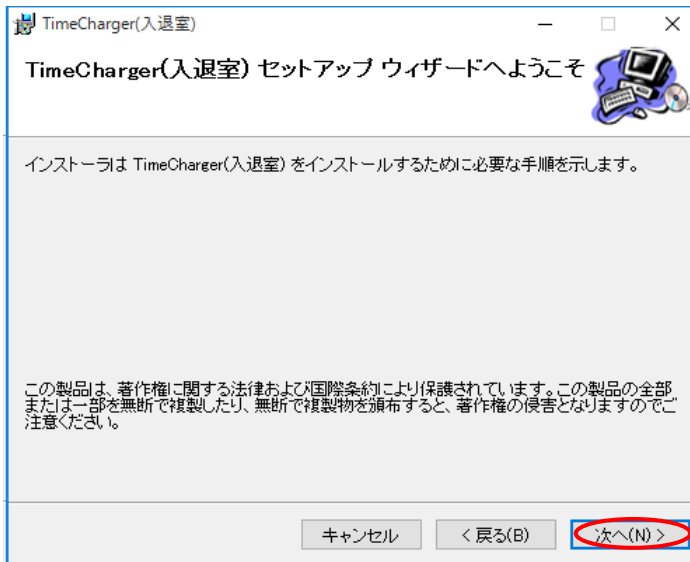


ダウンロードが開始し、完了画面が表示
されたら、「今すぐ再起動(N)」を押下します。
再起動後、再度7ページから実行して下さい。

4-1-4. 「TimeCharger (入退室)」インストールの開始

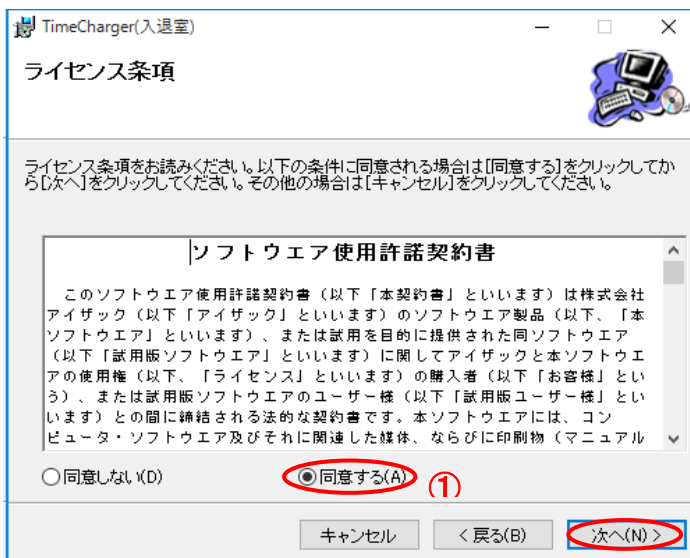


「TimeCharger (入退室)」のインストーラーが起動します。
「次へ(N)」ボタンを押下します。



「次へ(N)」ボタンを押下します。

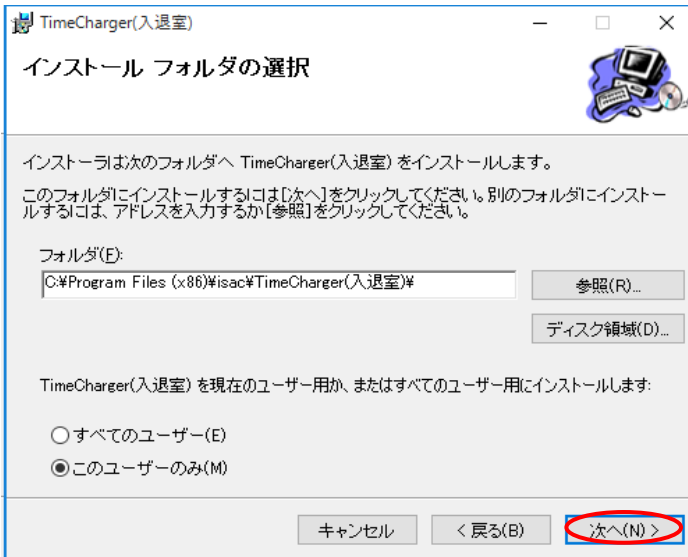
4-1-5. ライセンス条項



「ソフトウェア使用許諾契約書」画面が表示されます。

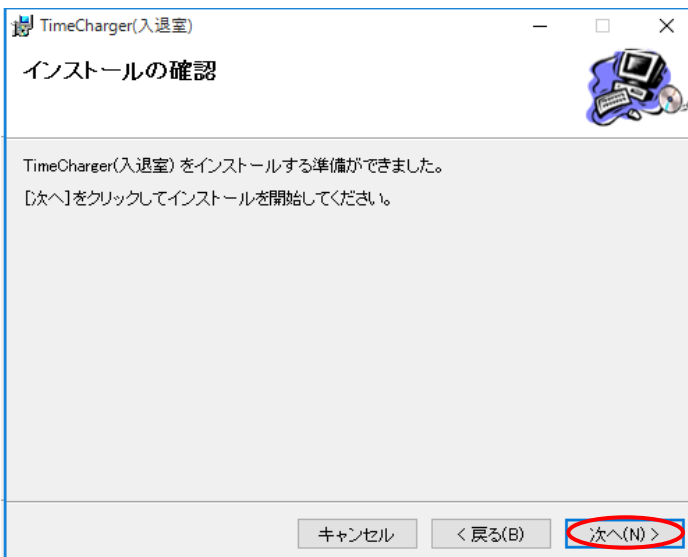
- ① 内容を読み「同意する(A)」にチェックをつけ、
- ② 「次へ(N)」ボタンを押下してください。

4-1-6. インストールフォルダの選択



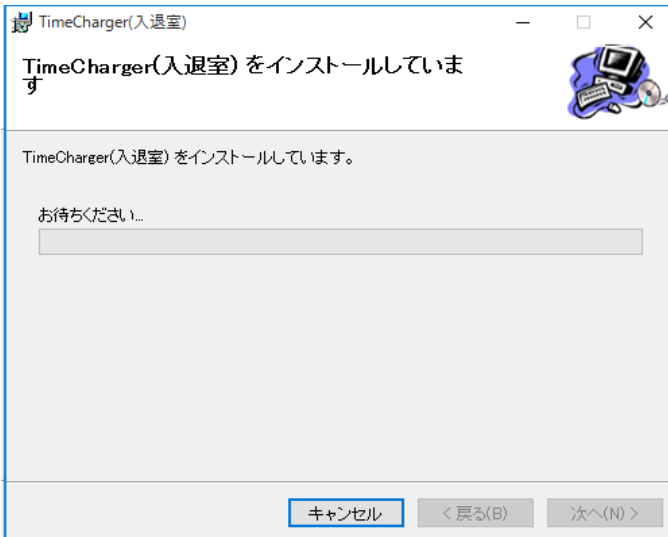
「次へ(N)」ボタンを押下します。

4-1-7. インストールの確認



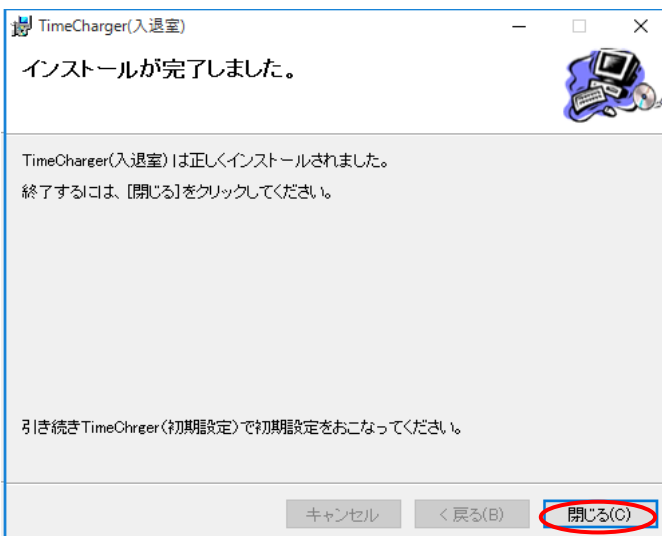
「次へ(N)」ボタンを押下します。

4-1-8. インストール



インストールが開始されますので、完了するまでお待ちください。

4-1-9. インストール完了



インストールが完了しました。「閉じる(C)」ボタンを押下して終了します。

コンピュータの次回起動時から、自動で「TimeCharger（入退室）」が起動します。

※引き続き「スタートメニュー」の「TimeCharger」から「TimeCharger(初期設定)」を行ってください

4-2. 初期設定

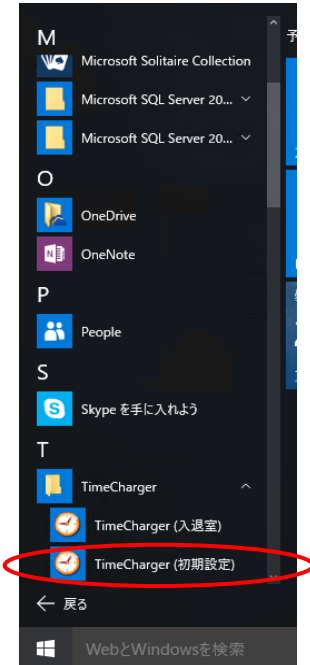
4-2-1. 「Windows Update」の更新プログラムを確認

「Windows Update」にて、更新プログラムが存在する場合、4-2-3. 初期設定方法の選択 の

①-1 「SQL Server Express Editionのインストール注意事項」にて、SQL Serverのインストールが正しく行えませんが、**更新プログラムが存在する場合は、パソコンを再起動して最新の状態にしてから初期設定を行ってください。**

「Windows Update」については「3-1-2. 自動更新の設定」を参照してください。

4-2-2. 「TimeCharger (入退室)」の初期設定起動



「スタートメニュー」より「すべてのアプリ」を選択し、「TimeCharger」から「TimeCharger(初期設定)」を起動します。

4-2-3. 初期設定方法の選択

TimeCharger (初期設定)

データベース (SQLServer) のインストール、及び初期設定を開始します。
設定方法を選択してください。

- ① このコンピューターにデータベース (SQLServer) をインストールし、初期設定を行います。
- ② 既に別のコンピューターにインストールされているデータベース (SQLServer) に初期設定を行います。
- ③ 既にTimeCharger AirTouchの初期設定が完了しているデータベース (SQLServer) に、入退室 (打刻) 画面を追加で接続します。

[readmeファイルを表示する](#)

キャンセル(C) 次へ(N) >



初期設定方法を選択して、「次へ(N)」ボタンを押下します。

①を選択した場合

→ ①-1 「SQL Server Express Editionのインストール注意事項」へ進んでください。

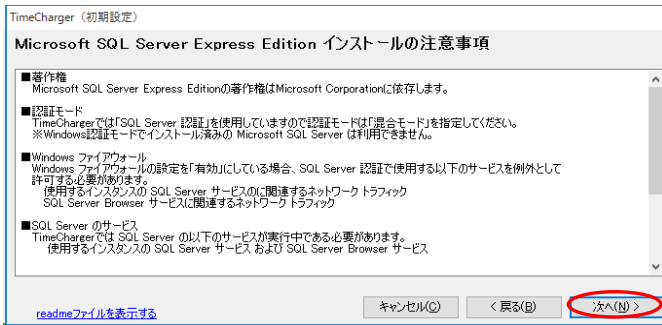
②を選択した場合 **※現在SQLServerを使用している場合**

→ ②-1 「データベースの接続情報の入力 (初期設定)」へ進んでください。

③を選択した場合

→ ③-1 「データベースの接続情報の入力 (入退室(打刻)画面追加)」へ進んでください。

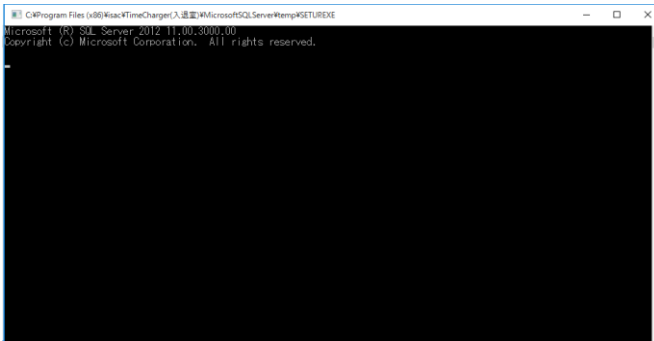
①-1. SQL Server Express Editionのインストール注意事項



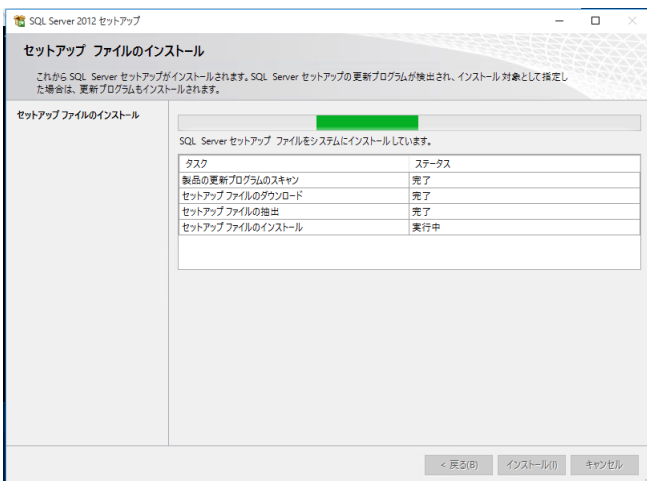
「SQL Server Express Editionインストールの注意事項」画面が表示されます。

「次へ(N)」ボタンを押下します。

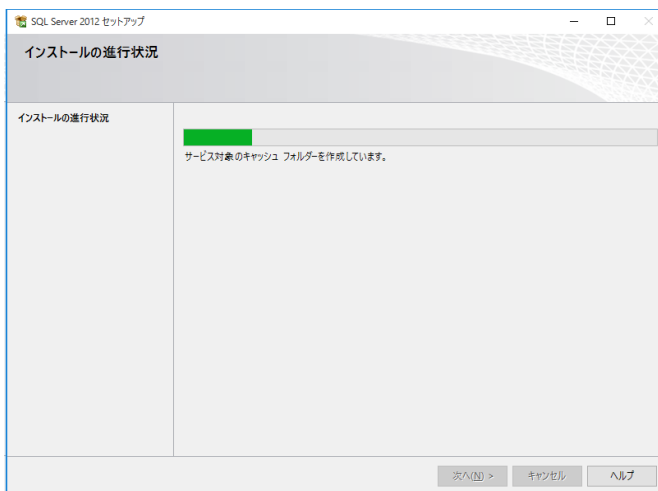
①-2. 「SQL Server 2012 セットアップ」のインストール



「SQL Server 2012」のインストールが自動で実行されます。



「SQL Server 2012 セットアップ」のインストールに必要なファイルが表示され、自動でインストールが行われます。



インストールの進行状況が表示されます。

①-3. 会社情報の入力

TimeCharger (初期設定)

会社情報を入力してください

締日 ①

日替時刻 00 : 00 ②

締日 お客様の組織の締日をご入力ください。入力された日付を元に、月の開始日が自動で切り替わります。
※ 月末締めの場合は「31」とご入力ください。(月末が29日の場合でも、自動的に29日で計算されます)

日替時刻 選択された時刻がシステム内部の日替り時刻となります。
03:00と選択すれば、毎日午前3時で日付が切り替わります。

[readmeファイルを表示する](#) キャンセル(C) < 戻る(B) 次へ(N) > ③

「TimeCharger」を利用するために必要な項目を入力します。
各項目の説明をお読みいただき、①「締日」、②「日替時刻」を設定し、③「次へ(N)」ボタンを押下します。
※後ほど変更することも出来ます。

①-4. 初期設定の完了

TimeCharger (初期設定)

「次へ(N)」ボタンを押下してください

- データベース作成 正常に終了しました。
- ログイン作成 正常に終了しました。
- ユーザ作成 正常に終了しました。
- データベース接続情報保存 正常に終了しました。
- ユーザ情報定義作成 正常に終了しました。
- テーブル作成 正常に終了しました。
- 初期データ作成 正常に終了しました。
- 会社情報更新 正常に終了しました。

[readmeファイルを表示する](#) キャンセル(C) < 戻る(B) 次へ(N) ③

「次へ(N)」ボタンを押下します。

TimeCharger (初期設定)

データベース (SQL Server) のインストール、及び初期設定が完了しました。

引き続き入室インストールマニュアルに従って、
Windowsファイアウォールの設定と、管理者画面(必須)、利用者画面(任意)の
インストールを行ってください。

管理者画面、利用者画面のインストールを行う際に
接続先情報が必要になります。

デスクトップに出力されているテキストファイル「TimeCharger接続先情報」
以下の「接続先情報」を控えてください。

接続先情報

サーバー名(接続先コンピュータ名)
DESKTOP-RIVGIPL

インスタンス名
TIMECHARGER

[readmeファイルを表示する](#) 閉じる(C) ③

初期設定が完了しました。
「閉じる(C)」ボタンを押下して終了します。

5-1. Windowsファイアウォールの設定へ進みます。

※管理者画面、利用者画面のインストールを行う際に
接続先情報が必要になりますので、表示された
接続先情報を控えてください。

※デスクトップに「TimeCharger接続先情報」が
出力されています。
「TimeCharger(管理者)」、「TimeCharger(利用者)」を
インストールを行う際に必要になりますので、
保管してください。

②-1. データベース接続情報の入力（初期設定）

TimeCharger（初期設定）

データベース接続情報を入力してください

Microsoft SQL Server のインストールされているコンピュータ名および使用するインスタンス名を入力してください。

サーバー名

インスタンス名

※ 別のコンピュータにインストールされている「SQL Server」を利用する場合、この設定をおこなう前に「SQL Server」のインストールされているコンピュータで「Windows ファイアウォール」の設定が完了している必要があります。
詳しくはインストールマニュアルを参照してください。

[readmeファイルを表示する](#)

接続先の「サーバー名」と「インスタンス名」を入力してください。
「次へ(N)」ボタンを押下します。

②-2. saアカウントのパスワード入力

TimeCharger（初期設定）

データベース接続情報を入力してください

Microsoft SQL Server のインストールされているコンピュータ名および使用するインスタンス名を入力してください。

サーバー名

インスタンス名

※ 別のコンピュータに「SQL Server」のインストールされているコンピュータで「Windows ファイアウォール」の設定が完了している必要があります。
詳しくはインストールマニュアルを参照してください。

[readmeファイルを表示する](#)

saアカウントのパスワードを入力してください。
「続行」ボタンを押下します。

②-3. 会社情報の入力

TimeCharger (初期設定)

会社情報を入力してください

締日 ①

日替時刻 00 : 00 ②

締日 お客様の組織の締日をご入力ください。入力された日付を元に、月の開始日が自動で切り替わります。
※ 月末締めの場合は「31」とご入力ください。(月末が29日の場合でも、自動的に29日で計算されます)

日替時刻 選択された時刻がシステム内部の日替時刻となります。
03:00と選択すれば、毎日午前3時に日付が切り替わります。

readmeファイルを表示する

キャンセル(C) < 戻る(B) 次へ(N) > ③

「TimeCharger」を利用するために必要な項目を入力します。
各項目の説明をお読みいただき、①「締日」、②「日替時刻」を設定し、③「次へ(N)」ボタンを押下します。
※後ほど変更することもできます。

②-4. 初期設定の完了

TimeCharger (初期設定)

「次へ」ボタンを押下してください

- データベース作成 正常に終了しました。
- ログイン作成 正常に終了しました。
- ユーザ作成 正常に終了しました。
- データベース接続情報保存 正常に終了しました。
- ユーザ情報定義作成 正常に終了しました。
- テーブル作成 正常に終了しました。
- 初期データ作成 正常に終了しました。
- 会社情報更新 正常に終了しました。

readmeファイルを表示する

キャンセル(C) < 戻る(B) 次へ(N) >

「次へ(N)」ボタンを押下します。

TimeCharger (初期設定)

データベース (SQL Server) のインストール、及び初期設定が完了しました。

引き続き入室インストールマニュアルに従って、Windowsファイアウォールの設定と、管理者画面(必須)、利用者画面(任意)のインストールを行ってください。

管理者画面、利用者画面のインストールを行う際に接続先情報が必要になります。

デスクトップに出力されているテキストファイル「TimeCharger接続先情報」と、以下の「接続先情報」を控えてください。

接続先情報

サーバー名(接続先コンピュータ名)
DESKTOP-RIVGIPL

インスタンス名
TIMECHARGER

readmeファイルを表示する

閉じる(C)

初期設定が完了しました。
「閉じる(C)」ボタンを押下して終了します。

5-1. Windowsファイアウォールの設定へ進みます。

※接続先名、インスタンス名は各環境によって異なります。

※管理者画面、利用者画面のインストールを行う際に接続先情報が必要になりますので、表示された接続先情報を控えてください。

※デスクトップに「TimeCharger接続先情報」が出力されています。
「TimeCharger(管理者)」、「TimeCharger(利用者)」をインストールを行う際に必要になりますので、保管してください。

③-1. データベース接続情報の入力（入退室(打刻)画面追加）

TimeCharger（初期設定）

データベース接続情報を入力してください

Microsoft SQL Server のインストールされているコンピュータ名および使用するインスタンス名を入力してください。

サーバー名

インスタンス名

※ 別のコンピュータにインストールされている「SQL Server」を利用する場合、この設定をおこなう前に「SQL Server」のインストールされているコンピュータで「Windows ファイアウォール」の設定が完了している必要があります。
詳しくはインストールマニュアルを参照してください。

[readmeファイルを表示する](#)


※一つ目の「TimeCharger(入退室)」をインストールした際に作成された「TimeCharger接続先設定」をデスクトップにコピーしておく、サーバー名とインスタンス名が自動で表示されます。

接続先の「サーバー名」と「インスタンス名」を入力してください。
「次へ(N)」ボタンを押下します。

③-2. 初期設定の完了

TimeCharger（初期設定）

「次へ」ボタンを押下してください。



データベース作成
ログイン作成
ユーザ作成
 データベース接続情報保存 正常に終了しました。
ユーザ情報定義作成
テーブル作成
初期データ作成
会社情報更新


[readmeファイルを表示する](#)

「次へ(N)」ボタンを押下します。

TimeCharger（初期設定）

既にTimeCharger AirTouchの初期設定が完了しているデータベース(SQLServer)に、入退室(打刻)画面を追加で接続しました。

以下の「接続先情報」で設定を行いました。



接続先情報

サーバー名(接続先コンピュータ名)
VISTA-BUSINESS

インスタンス名
TIMECHARGER

[readmeファイルを表示する](#)

初期設定が完了しました。
「閉じる(C)」ボタンを押下して終了します。

5. 後処理

5-1. Windowsファイアウォールの設定

「TimeCharger (入退室)」を正常に動作させるために、コンピュータの環境設定を変更する必要があります。

※「TimeCharger (入退室)」、「TimeCharger (管理者)」、「TimeCharger (利用者)」を1台のコンピュータで使用する場合は設定を行う必要がありません。

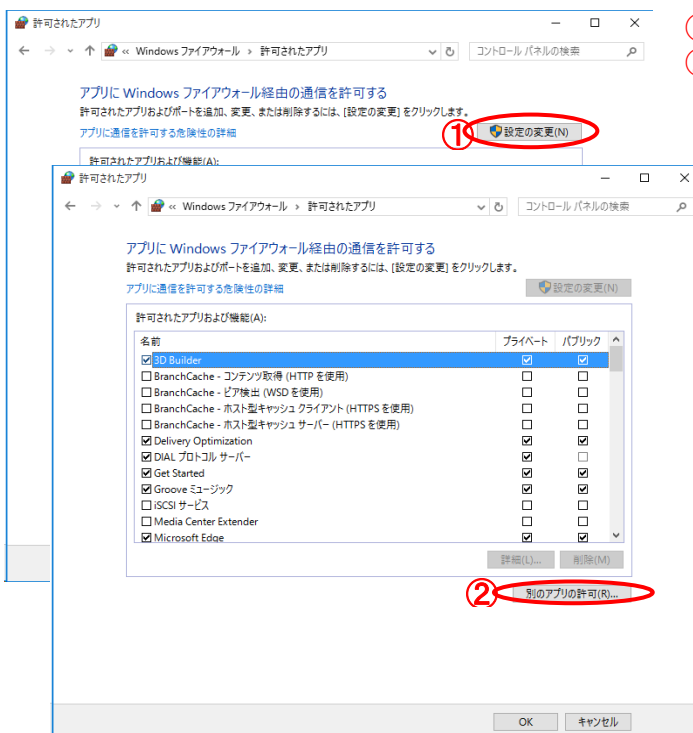
※「4-2-2. 初期設定方法」の選択で②を選択した場合は、接続先のコンピュータで設定を行います。
③を選択した場合は、設定を行う必要はありません。

5-1-1. Windowsファイアウォールの起動



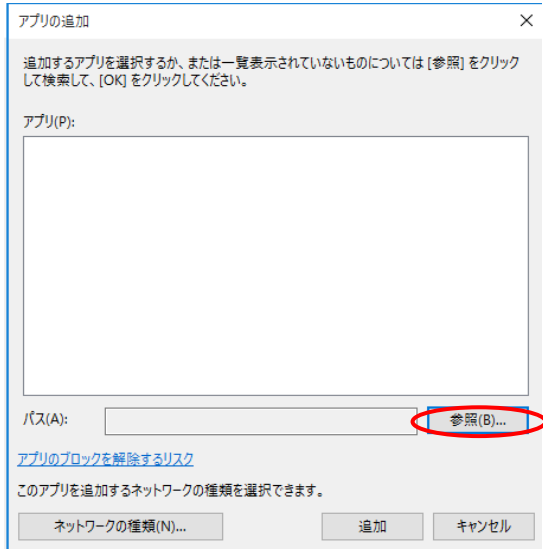
「スタートメニュー」より「すべてのアプリ」を選択し、「Windows システムツール」から「コントロールパネル」を開き、「Windowsファイアウォールによるアプリケーションの許可」を選択します。

5-1-2. Windowsファイアウォールのプログラムの設定



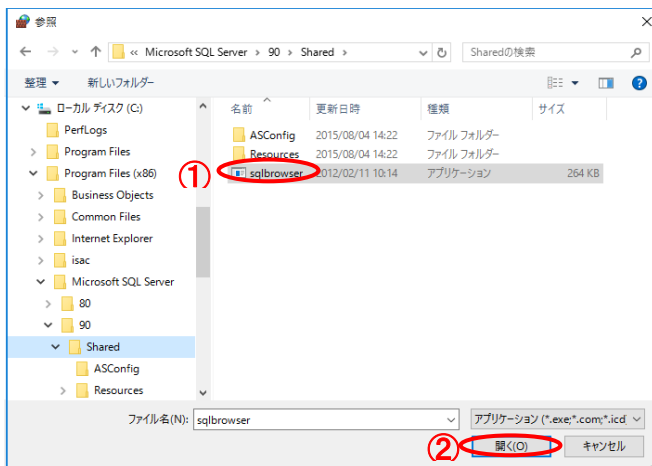
①「設定の変更(N)」をボタンを押下します。
②「別のアプリの許可(R)」ボタンを押下します。

5-1-3. プログラム一覧への追加



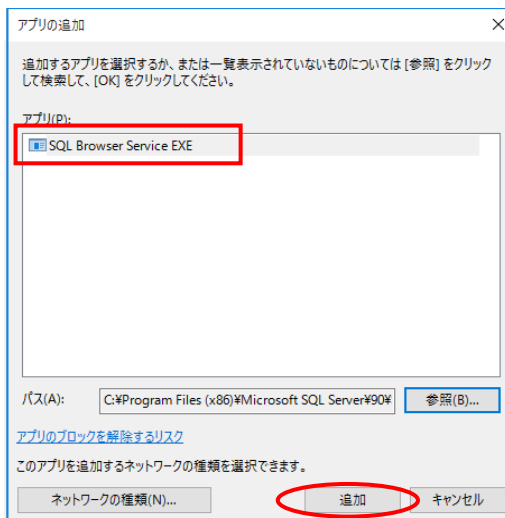
アプリの追加画面が表示されますので「参照(B)」ボタンを押下します。

5-1-3-1. SQLBrowserの例外設定



実行ファイルは、以下の場所にあります。
「C:¥Program Files (x86)¥Microsoft SQL Server ¥90¥Shared¥sqlbrowser」

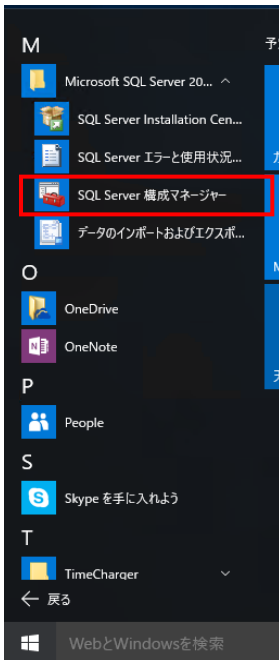
参照画面が表示されますので、①sqlbrowserの実行ファイルを選択し、②「開く(O)」ボタンを押下します。



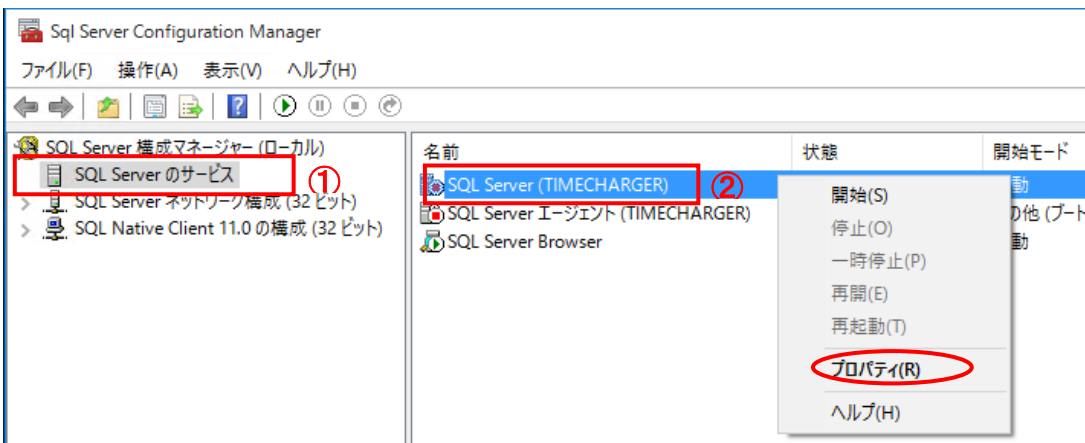
アプリ一覧に「sqlbrowser」が追加されたのを確認し、「追加」ボタンを押下します。

許可されたアプリ画面に戻りますので、画面はそのまま、続いて「5-1-3-2. SQLServrの例外設定」を行ってください。

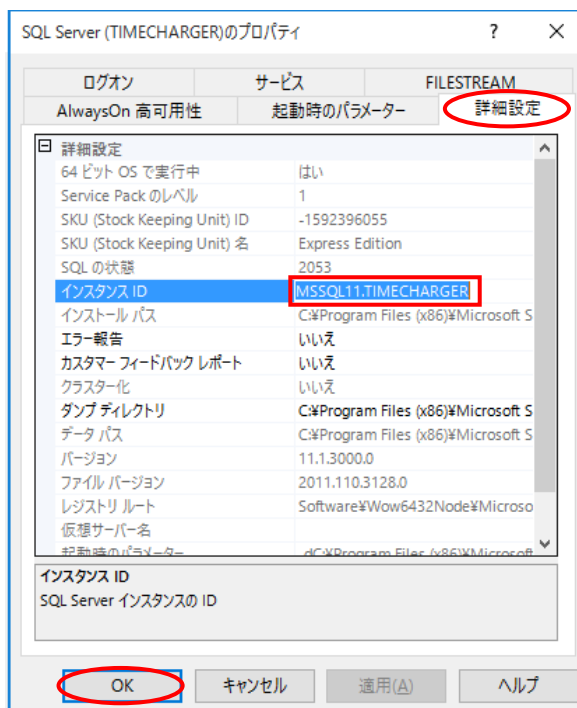
5-1-3-2. SQLServrの例外設定



SQLServerの実行ファイルの場所を探すため、「スタートメニュー」より「すべてのアプリ」を選択し、「Microsoft SQL Server 2012」の「SQL Server 構成マネージャ」を起動します。

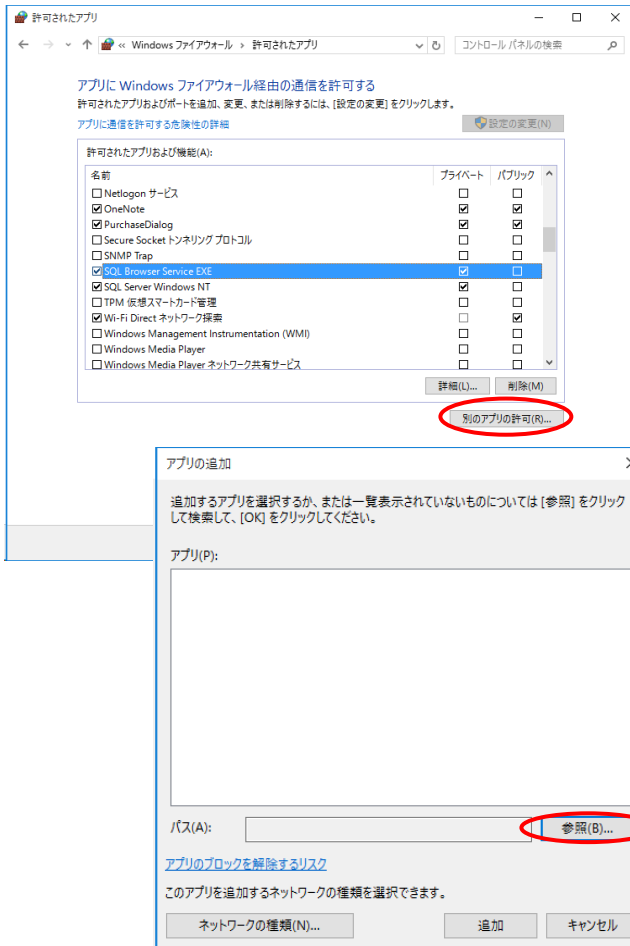


- ①「SQL Server のサービス」を選択します。
- ②「SQL Server (TIMECHARGER)」を右クリックし、プロパティを選択します。



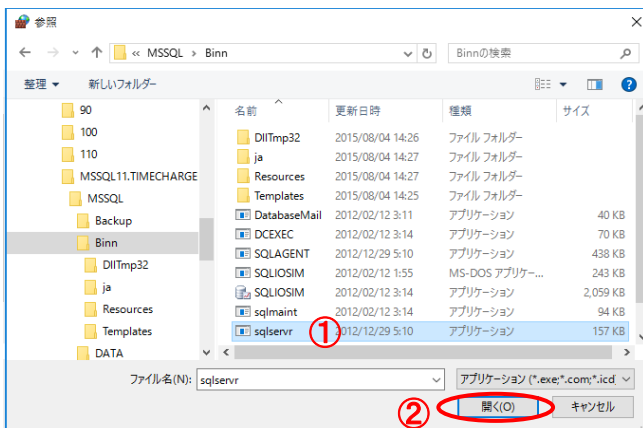
「詳細設定」タブを選択し、「インスタンスID」に表示されている値を控えます。

「OK」ボタンを押下します。



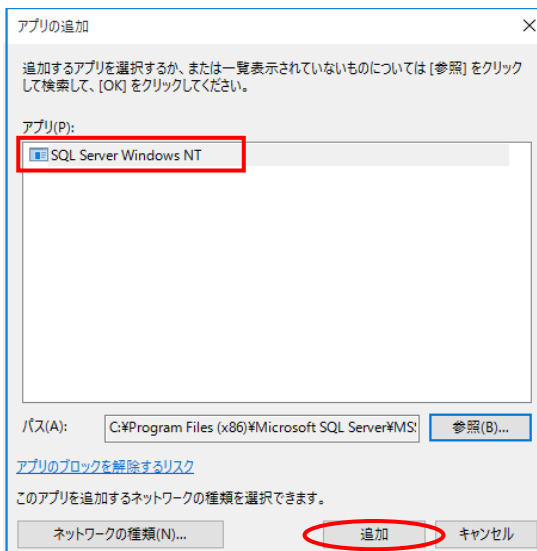
許可されたアプリ画面の
「別のアプリの許可(R)」ボタンを押下します。

アプリの追加を表示して、
「参照(B)」ボタンを押下します。



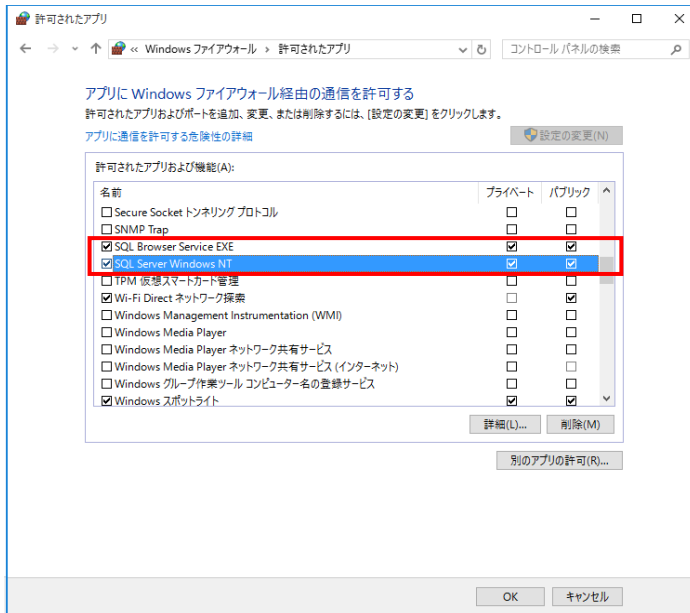
① sqlservrの実行ファイルを選択し、
②「開く(O)」ボタンを押下します。

実行ファイルは、以下の場所にあります。
「C:\Program Files (x86)\Microsoft SQL Server
%20ページで控えたインスタンスID
%MSSQL%\Binn\sqlservr」



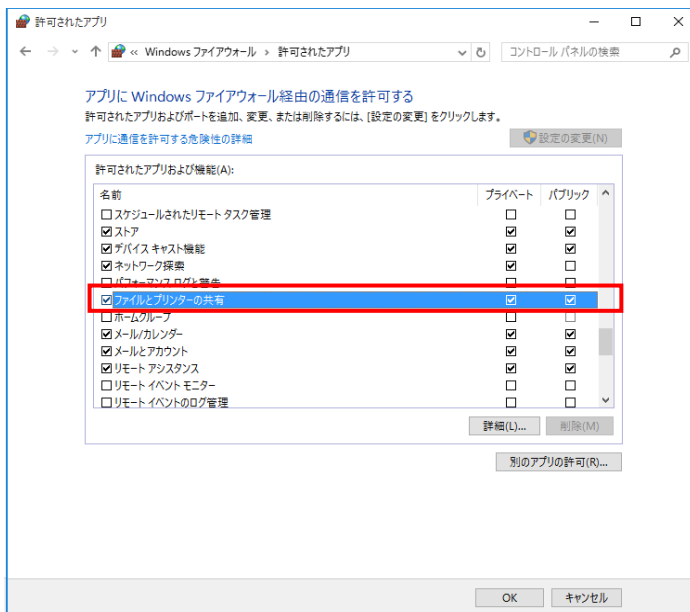
アプリ一覧に「sqlservr」が追加されたのを確認し、
「OK」ボタンを押下します。

5-1-4. アプリの追加の完了



「SQL Browser Service EXE」

「SQL Server WindowsNT」が追加されたのを確認して、「プライベート」と「パブリック」をチェックします。



「TimeCharger (入退室)」を

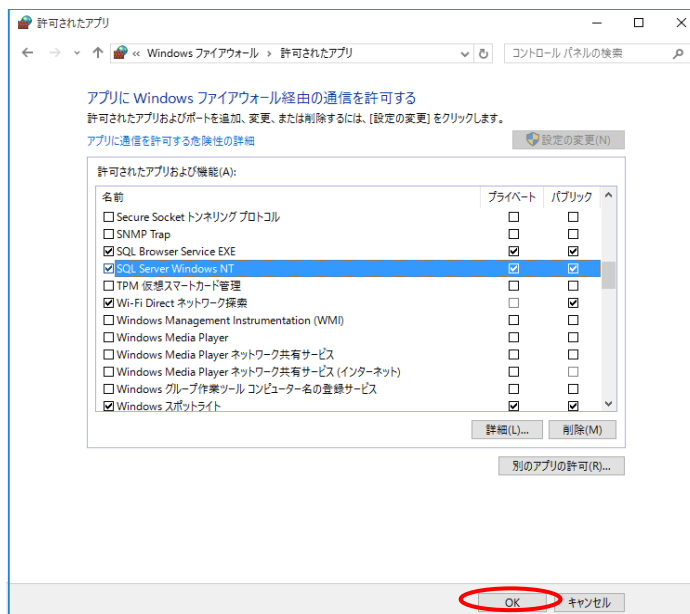
「TimeCharger (管理者)」、「TimeCharger (利用者)」

とは別のコンピュータで使用し、

Workgroupで接続を行う場合は、

「ファイルとプリンタの共有」をチェックして、パブリックをチェックします。

※ドメイン接続の場合は必要ありません。



「OK」ボタンを押下し、許可されたアプリを終了します。

以上で「TimeCharger (入退室)」のインストールは完了です。

インストール前にデスクトップにコピーしたファイルは削除していただいても構いません。

「TimeCharger(利用者)」「TimeCharger(管理者)」

のインストールに関しては、

「6. 「TimeCharger (管理者)」、

「TimeCharger (利用者)」のインストールについて」を参照してください

また、セキュリティソフトをご利用の場合は、

「5-1-5. セキュリティソフトをご利用になっている場合へ進んでください。

5-1-5. セキュリティソフトをご利用になっている場合の注意

セキュリティソフトをご利用になっている場合は、Windowsファイアウォールの設定を行っても、セキュリティソフトによって効果が現れない場合がございます。
その場合は、セキュリティソフトの停止をご確認ください。

※引き続き「6. 「TimeCharger (管理者)」、「TimeCharger (利用者)」のインストールについて」
へ進んでください。

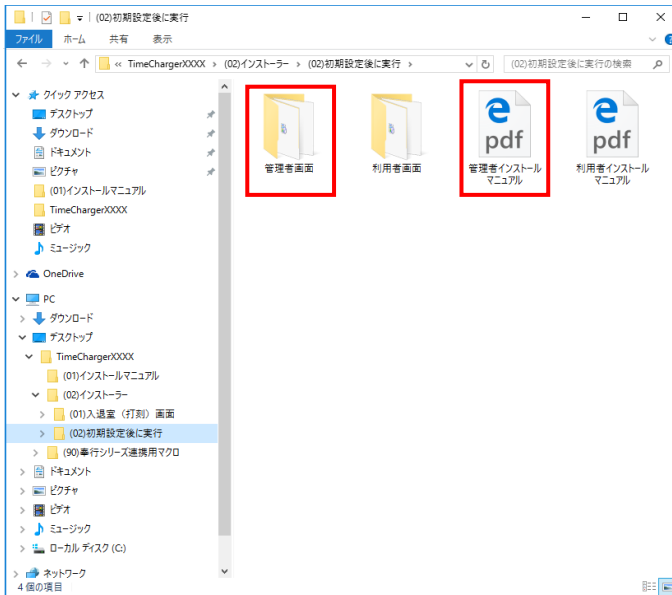
6. 「TimeCharger (管理者)」、「TimeCharger (利用者)」のインストールについて

「TimeCharger (入退室)」をインストールしたコンピュータの以下のファイルを使用します。

- ①「管理者画面」
TimeChargerXXXX¥(02)インストーラー¥(02)初期設定後に実行¥管理者画面
- ②「管理者インストールマニュアル」
TimeChargerXXXX¥(02)インストーラー¥(02)初期設定後に実行 フォルダ内
- ③「利用者画面」
TimeChargerXXXX¥(02)インストーラー¥(02)初期設定後に実行¥利用者画面
- ④「利用者インストールマニュアル」
TimeChargerXXXX¥(02)インストーラー¥(02)初期設定後に実行 フォルダ内
- ⑤「TimeCharger接続先情報」
TimeCharger(入退室)画面をインストールしたコンピュータのデスクトップ

「TimeCharger (管理者)」、「TimeCharger (利用者)」を、
「TimeCharger (入退室)」をインストールしたコンピュータ以外でご利用頂く場合は、
インストールを行うコンピュータに上記のファイルを配布する必要があります。
※それぞれのインストーラーを配布するためには、インストーラーをUSBメモリやCD-R等のメディアへコピーし、
管理者画面・利用者画面を利用するコンピュータのデスクトップにコピーします。
※ダウンロードした「TimeChargerXXXX」のフォルダ名「XXXX」にはバージョン番号が入ります。
バージョンによって番号が異なりますので、マニュアルでは「XXXX」としています。

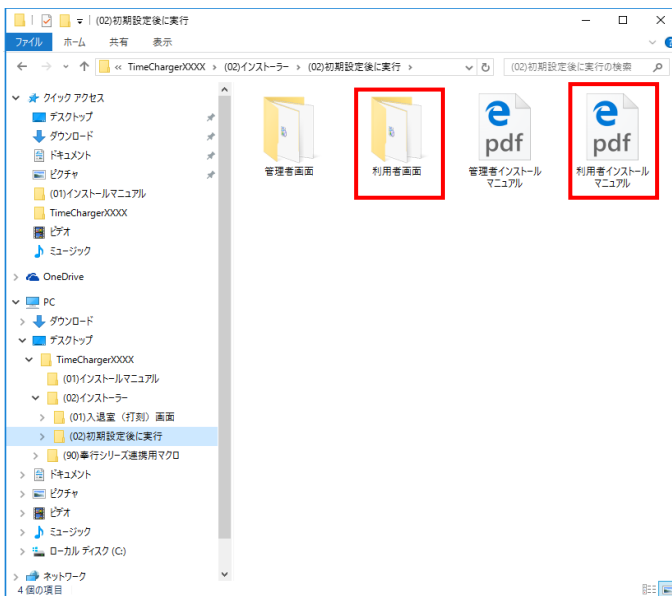
6-1. 管理者用インストーラー



- ①「管理者画面」フォルダと、
- ②「管理者インストールマニュアル」を使用します。

「TimeCharger（管理者）」のインストール方法については
②「管理者インストールマニュアル」を参照してください。

6-2. 利用者用インストーラー



- ①「利用者画面」フォルダと、
- ②「利用者インストールマニュアル」を使用します。

「TimeCharger（利用者）」のインストール方法については
②「利用者インストールマニュアル」を参照してください。